

教育研究データ			
1. 氏名	橋村勝明		
2. 生年月	1968年6月		
3. 取得学位	博士(文学)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2022年2月	①教職課程の科目「国語概論」のためのテキスト『小学校教職課程のための国語概論 改訂版』(広島文教大学)の作成	
	2022年2月	②教職課程の科目「日本語の音声」のためのテキスト『日本語音声学の基礎 改訂版』(広島文教大学)の作成	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表, 講演等	2015年8月	①「高大接続答申を受けた大学の教育改革に伴う入学者選抜改革について」と題して平成27年度武田学園教職員研修会において講師を担当した。	
	2022年3月	②「本学における私立大学等改革総合支援事業を基点とした教育改革の現状と課題」と題して令和3年度冬期FD・SD研修会において講師を担当した。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
①『辞書の成り立ち』	共著	2021年11月	朝倉書店
②『中世真名軍記の研究』	単著	2022年11月	汲古書院
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
① 平松家本『平家物語』の「於」字の用法について	単著	2018年2月	『文教国文学』第62号,13-23頁
② 『平家物語』所収文書の漢文訓読語	単著	2018年3月	『広島大学日本語史研究報告論集』4号,19-32頁
③中世真名軍記における助動詞「ケリ」の用字について	単著	2021年6月	『国文学攷』第250号, 1-13頁
③ 中世における表記体混淆文について	単著	2022年3月	『文教国文学』第66号, 1-7頁
⑤『聖徳太子伝宝物集』における片仮	単著	2024年3月	『文教国文学』第68号

名表記について—小書から大書への切り替えに注目して—		
(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等
①真名本の表記と文体—『官地論』を手がかりとして—	2016年10月	広島文教女子大学国文学会
②内閣文庫蔵『聖徳太子伝宝物集』の「既」字訓「カクテ」について—中世における用字の背景試案—	2019年10月	広島文教女子大学国文学会
(4) 所属学会		
①日本語学会		
②訓点語学会		
③広島大学国語国文学会		
④全国大学国語国文学会		
⑤		